

2. 麻しん風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2 (1) . 麻しん風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
01.千代田区	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入前の自治体での接種歴が確認できないため、接種率に影響したと考えられる。		5.その他情報発信の内容の見直し	SNSをより活用し、区民の目に触れる機会を増やす。	
01.千代田区						
02.中央区	1.個別通知の時期・回数	接種対象年齢になる月に個別通知をすることで、接種率95%を達成することができた。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	任意MR接種の費用助成を引き続き行う。	
02.中央区						
03.港区	1.個別通知の時期・回数	1歳の誕生日の前月末に予診票とお知らせを発送しています。該当年齢に達している転入者の場合は申込制のため、転入時の周知が今後の課題です。		1.個別通知の時期・回数	1歳の誕生日の前月末に予診票とお知らせを発送しています。該当年齢に達している転入者の場合は申込制のため、転入時の周知が今後の課題です。	
03.港区	6.その他情報発信の手段	みなと母子(親子)手帳アプリを使っている保護者には、忘れないように通知が届きます。アプリの普及率の向上が今後の課題です。		6.その他情報発信の手段	みなと母子(親子)手帳アプリを使っている保護者には、忘れないように通知が届きます。アプリの普及率の向上が今後の課題です。	
04.新宿区	6.その他情報発信の手段	多国籍の区民の場合、日本人と比べ接種率の低下傾向がみられるため、外国語による適切な情報発信が必要。	英語の予防接種スケジュール	6.その他情報発信の手段の見直し	従前の取り組みに加え、SNSを利用した周知を実施予定。	
04.新宿区						
05.文京区	6.その他情報発信の手段	予防接種スケジュール管理アプリが活用されていると思われる。				
05.文京区	9.海外出生者の転入時の取組	接種状況が記載された書類を持参していただく場合が多く、的確に接種状況を把握することができた。				
06.台東区	11.その他(何らかの理由で接種を希望しない者)	度々の個別勧奨によっても接種を受けない者が一定数おり、接種率の向上を図る上での課題となっている。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	台東区で接種歴の確認が取れていない者のうち、令和5年度末に接種期限を迎えた者に対して、任意接種費用助成制度の案内はがきを発送。	
06.台東区						
07.墨田区	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入手続きを本庁舎で行った場合はワンストップで対応可能となるが、出先機関(出張所など)で手続きを行った場合には改めて区役所に来庁いただくかデジタル申請で行う形となるため予診票を受け渡すタイミングが遅れてしまう。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	標準的なスケジュールで接種を行うことの必要性をお知らせするとともに、後述2(3)などの制度の活用により接種が漏れてしまった方への接種を進めていく。	
07.墨田区	9.海外出生者の転入時の取組	母子手帳がない方には、口頭または接種記録を確認できる書類等で接種状況を把握している。海外で接種した海外製のワクチンが統計に入ることができないため、接種率低下の一因となっている。				
07.墨田区	10.新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	新型コロナまん延による接種控えにより、標準的なスケジュールで接種をすることができなかった対象者が一定程度想定される。	定量的なデータは無し			
08.江東区	1.個別通知の時期・回数	接種期限を迎える前々月に勧奨通知を行うことにより、期限が迫っていることを踏まえて迅速な接種が行われていると考えられる。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	接種率向上を図る。HPIによる周知や、医療機関あて事務連絡の発出等を行っている。	
08.江東区						
09.品川区	11.その他( )	品川区の接種率は前年度から0.6%上昇して99.8%と高い水準にあると考えている。なお、未接種者である児のこれまでの接種歴を確認したところ、出生から一度もワクチンを受けていない群と1歳以降からワクチンを受けなくなった群に大分された。予防接種に行かなくなった理由としては、ワクチン接種に対する不安や忌避、予診票の紛失、仕事等が多忙で連れて行かなかった等が考えられる。		2.個別通知の内容の見直し	「ワクチンに対する不安や忌避」や「仕事等が多忙で連れて行かなかった」保護者に接種の重要性を認識してもらうために、接種の有効性および安全性、未接種による健康上のリスク等を予診票個別通知や接種勧奨通知等を通じてより丁寧に記載する。	
09.品川区						
10.目黒区	10.新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え	5類移行により接種控えが緩和された		10.接種漏れ者への接種機会の提供	生後2歳以上～19歳以下の麻しん罹患歴なしで1度も麻しん予防接種を受けたことがないもしくは1度しか受けていないかたに対して接種機会を提供	
10.目黒区						

2. 麻しん風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2 (1). 麻しん風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
11.大田区	1.個別通知の時期・回数	第1期については、令和5年度97.9%となっており目標を達成している。要因としては、接種期限が迫る1歳10か月時点での個別通知(未接種者)をしているためと考える。		5.その他情報発信の内容の見直し	通年公開しているHPや例年発信している広報誌への掲載内容の見直し	
11.大田区						
12.世田谷区	2.個別通知の内容	勧奨通知の内容が古いままで、見直しがされていない。		2.個別通知の内容の見直し	勧奨通知の文言、デザイン等を、危機感が強く伝わるものに修正する。	
12.世田谷区	6.その他情報発信の手段	SNS等での情報発信が不足している。		6.その他情報発信の手段の見直し	XやFacebookを活用し、より多くの人に情報が伝わるよう工夫する。	
13.渋谷区	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入届出時にチラシ(予防接種の一覧)を配付しているのみ、予診票の発行は申し出によるので全員に行き渡らず、課題である。	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある	9.海外出生者の転入時の情報提供	予防接種一覧の英訳版を作成し、転入時に配布するよう転入窓口所管に依頼	
13.渋谷区	9.海外出生者の転入時の取組	転入届出時にチラシ(予防接種の一覧)を配付しているのみ、予診票の発行は申し出によるので全員に行き渡らず、課題である。	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なるため、連携に課題がある			
13.渋谷区	11.その他(外国籍の住民への対応)	予診票など各書類の外国語表記をしておらず、案内が不十分であり課題である。				
14.中野区	1.個別通知の時期・回数	個別に予診票を送ることで、忘れず接種することができる。		11.その他(特になし)	接種率98%なので、引き続き実施していく。	
14.中野区						
15.杉並区	1.個別通知の時期・回数	まもなく2歳となる未接種者に勧奨しており、接種忘れを抑制できている。		2.個別通知の内容の見直し	勧奨はがきの内容を見直す	
15.杉並区						
16.豊島区	2.個別通知の内容	接種率95.8%を達成しており、1歳前及び2歳前の計2回個別勧奨をしているため接種忘れを抑制できていると考える。当区は転入転出が多く、転入者へのアプローチを充実させることにより接種率向上に寄与できると考える。		5.その他情報発信の内容の見直し	転入時のお知らせの内容を充実させた。(具体的なワクチン名や接種回数を記載)	実施済
16.豊島区				5.その他情報発信の内容の見直し	電子申請化することにより、予診票請求に係るハードルを下げ、特に転入時のお知らせにより未接種であることを確認した者の接種忘れを防ぐ。	実施予定
17.北区	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入者へ予防接種の接種歴を確認するお尋ねを個別送付し、回答に基づき接種が必要なワクチンについて予診票を個別送付している。		4.その他情報発信の時期・回数 の見直し	風しんの日に合わせて、広報誌へ接種勧奨や任意予防接種の事業を案内する。	
17.北区	9.海外出生者の転入時の取組	転入者へ予防接種の接種歴を確認するお尋ねを個別送付し、回答に基づき接種が必要なワクチンについて予診票を個別送付している。				
18.荒川区	3.個別通知の手段	区内協力医療機関で、1歳から1歳3か月未満の間に麻しん風しん第1期の接種を受けた者を対象に、身長と体重を計測する1歳児プチ健診を実施しており、接種予診票と併せて健診受診票を発送していることが、接種率95%達成に繋がったと思われる。	令和6年度も引き続き1歳児プチ健診を実施し、麻しん風しんの接種率95%の達成を目指す。			
18.荒川区						
19.板橋区	5.その他情報発信の内容	板橋区は1期97.8%、2期94.7%と比較的高い接種率をキープしており、接種忘れは少ないと思われる。外国籍の方や、そもそも接種意志の薄い家庭への勧奨方法が難しい		5.その他情報発信の内容の見直し	対象世帯への予診票発行のほかに、期限間近で未接種の方向け勧奨はがき、予防接種週間におけるチラシの配付、就学時健診時の勧奨などの機会があるが、目に留まりやすいように構成を編集したり、字を大きくしたりなどの工夫をしたい。	
19.板橋区						
20.練馬区	5.その他情報発信の内容	予診票を各世帯に個別発送し、転入手続きを行う部署に依頼し、転入者向けに予防接種の案内を配布している。		11.その他( )	令和5年度と同じく、個別発送と転入者への案内を続けていく。	
20.練馬区						

2. 麻しん風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2 (1). 麻しん風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
21.足立区	5.その他情報発信の内容	予診票のオンデマンド申請制度を取入れたため、予診票の再発行の手間を削減できた。		8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	転入者に対して漏れないように予診票の交付を行う。	
21.足立区	5.その他情報発信の内容	予防接種ナビを用いて接種予定日から予定日経過後のリマインド通知を行い勧奨した。		5.その他情報発信の内容の見直し	医療機関からMRワクチンの不足の報告多数あり。接種希望者はいるが、ワクチンが不足しているため接種できない現状あり。区民からも、接種の案内は来るが、ワクチンがない医療機関が多いためうてない苦情あり。そのため、接種勧奨をしすぎることも慎重に検討する必要があると考える。	
21.足立区	5.その他情報発信の内容	R5年度末に麻疹の発症者報告に伴い接種希望者が増したが、ワクチン不足のため接種できない方が多かった。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	期限が切れた対象者に対しては、区の任意制度を案内している。	
22.葛飾区	11.その他(接種率達成の要因)	新型コロナウイルス感染症の流行による接種控えが解消されたことが接種率達成の要因ではないかと考えられる。		11.その他(令和6年度予定)	1(1)の回答と同様、例年実施している取り組みを継続して実施予定。	
22.葛飾区	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なること、予診票発行ができる窓口が出先機関となることから、連携に課題がある。転入を受け付ける窓口で転入者向けの予防接種のお知らせを配布し、予診票発行の案内をしている。MR1期接種を逃している場合は、区単独の任意予防接種でフォローしている。				
22.葛飾区	9.海外出生者の転入時の取組	転入を受け付ける窓口(所管部署)が異なること、予診票発行ができる窓口が出先機関となることから、連携に課題がある。転入を受け付ける窓口で転入者向けの予防接種のお知らせを配布し、予診票発行の案内をしている。MR1期接種を逃している場合は、区単独の任意予防接種でフォローしている。				
23.江戸川区	1.個別通知の時期・回数	1歳になってからの接種勧奨により、接種忘れを抑制できている。				
23.江戸川区						
24.八王子市	1.個別通知の時期・回数	1歳前のお子さんに予防接種の知らせの手紙として、麻しん風しん定期接種についての情報を入れて送付。また、2歳になる前の未接種者に対し、勧奨ハガキを送付。それらにより対象者の保護者に予防接種について周知できたと思える。		11.その他( R6年度の取り組みを継続)	接種率は95%以上なので、現行の取り組みを続けて行く予定。	
24.八王子市	4.その他情報発信の時期・回数	登録者のみとなるが、「すくすくメール」での接種勧奨は、LINEを使用し複数回行っているため、予防接種について周知できたと思える。				
24.八王子市	6.その他情報発信の手段	保健センターでの1歳児半の健診時や、保健師の家庭訪問時にも重ねて接種勧奨を実施していることにより、接種率95%以上を達成できていると思われる。				
25.立川市						
25.立川市						
26.武蔵野市	4.その他情報発信の時期・回数	予防接種の受け忘れの確認を促す記事を例年は年2回掲載しているが、年1回しか掲載できなかった。		4.その他情報発信の時期・回数の見直し	(計画)予防接種の受け忘れがないか確認を促す記事を年2回掲載する。広報誌だけでなくSNS等での周知も行う。	
26.武蔵野市						
27.三鷹市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入手続き時に提出いただく書類(「連絡票」と呼ぶ)の提出がないと、転入者の接種状況が把握できず、必要な方へ予診票を送付できない。	転入手続き時に窓口で連絡票を渡し、提出いただくようになっている。	8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	書類での提出のみではなく、提出用のフォームを作成し電子上での申請受付を行う。	
27.三鷹市	9.海外出生者の転入時の取組	同上	同上	9.海外出生者の転入時の情報提供	同上	
28.青梅市	11.その他(ワクチン供給の不足)	年度末のワクチン不足により、R5年度中に接種できた件数が伸びなかったものと考えられる。		2.個別通知の内容の見直し	市健康センターで行う1歳6か月健診の際に必ず予防接種歴の確認。その時点で接種していない方に対して接種勧奨を行い、予診票を紛失してしまった方についてはその場で再発行を行っているが、未接種の方へMRワクチン接種の重要性を伝え、必ず定期接種期間内に接種をするように促す。	
28.青梅市						
29.府中市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入者の予防接種対象者については転入届受理後、乳児医療証を担当する部署で、予防接種予診票の入手方法を記載した案内を配布した。予診票は、接種の開始時期が近づいたら一斉発送しているため、一斉発送の対象時期を過ぎている場合は、当課の窓口にて手渡すか個別に郵送、または医療機関に予備があればそちらを使用してもらった。		11.その他( 外国籍の住民への対応 )	「ふちゅう予防接種ナビ」は、予防接種予定日のプッシュ通知機能や子育て記録の保存等ができる「ふちゅう子育て応援アプリ」にリニューアルし、外国語に対応するため、多言語に対応した翻訳機能を搭載する。	
29.府中市	9.海外出生者の転入時の取組	転入者の予防接種対象者については転入届受理後、乳児医療証を担当する部署で、予防接種予診票の入手方法を記載した案内を配布した。予診票は、接種の開始時期が近づいたら一斉発送しているため、一斉発送の対象時期を過ぎている場合は、当課の窓口にて手渡すか個別に郵送、または医療機関に予備があればそちらを使用してもらった。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	麻しん風しんの定期予防接種対象時期を逸失した乳幼児及び児童に対し、引き続き任意予防接種として接種機会の提供を行い、更なる接種率の向上を図る。対象者は、2歳から定期接種2期の対象となる前までの間にある幼児及び、小学校1年生から6年生までの児童。	

2. 麻疹風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2(1). 麻疹風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
30_昭島市	6.その他情報発信の手段	現状行っているホームページや広報掲載の場合、保護者が主体的に情報収集をする必要がある。同時接種が可能であるという認識がそれほど高くない。		6.その他情報発信の手段の見直し	市が提携している民間の子育てアプリの活用を推奨し、プッシュ通知等により同時接種が可能という認識を持っていただくことで、接種のハードルを下げられる工夫をする。	
30_昭島市						
31_調布市	11.その他(要因は不明)	対象者へは個別通知を行い、市報等による広報も行っており、第1期の接種率が95%未満の直接の原因は不明である。ただし、法定外で接種をされる方もいるため、法定外接種による助成の取組を継続していく。		8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	毎月の定例発送の抽出日において把握できなかった転入者については、別途抽出し、継続して個別発送を行う。	
31_調布市				9.海外出生者の転入時の情報提供	母子手帳や接種履歴を記した書類がない方には、口頭で接種状況を把握し、接種の案内を行う。	
32_町田市	4.その他情報発信の時期・回数	1歳0か月時、および1歳6か月時に勧奨することにより接種忘れを抑制できている(1歳6か月は乳児健診の案内に同封)。		11.その他	令和5年度事業の継続	
32_町田市	6.その他情報発信の手段	予防接種スケジュール管理システムでの情報発信で接種忘れを抑制できている。				
33_小金井市	11.その他(95%達成)	乳幼児健診の確認と市民への周知を行ったため。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	1期の未接種者には、2期前まで接種機会を確保している。	
33_小金井市						
34_小平市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入届を受理する部署で、予防接種の交付申請書を渡している。		8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	転入届を受理する部署で、予防接種の交付申請書を渡している。	
34_小平市	9.海外出生者の転入時の取組	上記と同じ		9.海外出生者の転入時の情報提供	上記と同じ	
35_日野市	1.個別通知の時期・回数	1歳の誕生日に個別通知を発送するため、接種機会に適していると想定される。		11.その他(5年度取組と同内容を継続実施)	1歳の誕生日に個別通知を発送する	
35_日野市						
36_東村山市	11.その他(ワクチン供給不足)	第4四半期に、メーカーによるワクチンの回収や麻疹の罹患者が出たというニュースの影響により、ワクチンが供給不足になった。		2.個別通知の内容の見直し	2歳の誕生日が近いかがスムーズに接種を受けられるよう、2期対象者や1歳の低月齢児には、接種の予約を急がないよう呼びかけた。	
36_東村山市						
37_国分寺市	11.その他(ワクチン不足)	勧奨方法や内容は昨年と変えていないため、ワクチンの不足により達成できなかった4ものとする。		2.個別通知の内容の見直し	ワクチン接種にいい心持ってもらえるよう、勧奨はがきの内容の変更を検討する。	
37_国分寺市	2.個別通知の内容	勧奨はがきに改善の余地がある。				
38_国立市	1.個別通知の時期・回数	1歳前の個別送付で接種率95%を達成できている。		5.その他情報発信の内容の見直し	ホームページの内容をよりわかりやすいものにする。	
38_国立市						
39_福生市						
39_福生市						

2. 麻しん風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2 (1). 麻しん風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
40. 狛江市	9.海外出生者の転入時の取組	住民票のある方へは予診票を送付。		6.その他情報発信の手段の見直し	スマートフォンアプリによる周知	
40. 狛江市						
41. 東大和市	1.個別通知の時期・回数	東大和市では、予診票を標準的な接種期間開始時期(1歳)に合わせて、予診票を送付している。そのため高い接種率が達成できたが、接種時期を逃してしまう一部の市民についてはこちらが追って把握することが出来ていないことが課題と捉えている。	令和5年度接種率99.2%	1.個別通知の時期・回数を見直し	東大和市では、予診票を標準的な接種期間開始時期(1歳)に合わせて、予診票を送付している。第1期の接種率95%を達成するために、引き続き、毎月1歳10か月に達する時期に、勧奨はがきの内容を工夫して送付し、接種期間を逃さないよう対応していく。	
41. 東大和市				2.個別通知の内容の見直し	紛失、転入等で予診票の再発行が必要な場合、オンラインで申請することで、市から予診票を郵送する。	
41. 東大和市				8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	R5年度に引き続き、転入手続きの主管課にて、予防接種対象の年齢の子がいる場合に、予防接種担当課に行くよう案内をしている。予防接種主管課では、母子手帳等で今までの接種歴を確認し、接種可能なワクチンの予診票を発行している。また、転入者を含め当市に接種記録がない場合は勧奨通知を送付している。	
41. 東大和市				9.海外出生者の転入時の情報提供	R5年度に引き続き、転入手続きの主管課にて、予防接種対象の年齢の子がいる場合に、予防接種担当課に行くよう案内をしている。予防接種主管課では、母子手帳等で今までの接種歴を確認し、接種可能なワクチンの予診票を発行している。また、転入者を含め当市に接種記録がない場合は勧奨通知を送付している。	
42. 清瀬市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入者については、同課の子育て支援係(子の医療証発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にてご案内している。立ち寄りがない場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。		5.その他情報発信の内容の見直し	市ウェブサイトにて定期予防接種の概要や予診票の配布時期等をまとめたページを新設。以前は市報に掲載していたが、インターネット上でもワクチン情報を確認できるようになった。	
42. 清瀬市	9.海外出生者の転入時の取組	転入者については、同課の子育て支援係(子の医療証発行部署)の手続きと同時に予防接種担当窓口にてご案内している。立ち寄りがない場合、保護者の電話番号を確認し、直接保護者に電話をして来庁を促す。また、対象者に未接種勧奨個別通知を行うことで未接種での年齢超過を防ぐ。翻訳機を利用して説明を行う。		10.接種漏れ者への接種機会の提供	対象者に未接種勧奨通知を個別に配布することで未接種での年齢超過を防いでいる。	
43. 東久留米市	1.個別通知の時期・回数	第1期については、接種率95%以上の為、個別通知の時期や回数は適切であったと考えられる		2.個別通知の内容の見直し	接種期限を強調する	
43. 東久留米市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入翌月初に個別通知をしている		11.その他( )	予診票再交付のオンライン申請を開始した	
44. 武蔵村山市	4.その他情報発信の時期・回数	麻しん・風しんの接種率向上に向けて教育(就学時健診)、母子保健(乳幼児健診)とは連携をとっているが、その他の関係部署(保育など)とは連携がとれていない。		11.その他(他部署との連携)	予防接種担当部署と乳幼児健診担当部署が分かれているため、引き続き1歳半健診での声掛け・未接種者の状況紹介を行う。	
44. 武蔵村山市						
45. 多摩市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	毎月、転入者を抽出して、個別通知を送付している。		5.その他情報発信の内容の見直し	対象者にわかりやすい情報を届けられるように、ラインの内容を見直した。	
45. 多摩市	9.海外出生者の転入時の取組	毎月、転入者を抽出して、個別通知を送付している。				
45. 多摩市	11.その他(個別通知が返送されてきた場合の対応)	地区担当保健師と連携して、個別通知が返送されてきた方にも通知を届けられるようにしている。				
46. 稲城市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	保護者から依頼があれば、母子健康手帳確認後に渡している。		4.その他情報発信の時期・回数を見直し	麻しんが流行した場合の広報への掲載	
46. 稲城市	9.海外出生者の転入時の取組	保護者から依頼があれば、母子健康手帳確認後に渡している。				
47. 羽村市	8.国内の区市町村からの転入者への取組	転入者へは、転入届を受理する部署で、必要な手続き(一覧表)について案内している。多くの方はそれを確認し、予診票の受け取りに来所されるが、来所されない方については、集団健診等の機会でもないとこちらから予診票をお渡しすることができない。		6.その他情報発信の手段の見直し	市公式サイト、広報誌に加えて、メール配信サービス、市公式Twitter、1歳児教室で再案内など、情報発信手段を増やす。	
47. 羽村市	9.海外出生者の転入時の取組	同上。接種履歴については、母子健康手帳やそれに代わるもので確認している。お持ちでない場合は、口頭で確認している。				
47. 羽村市	6.その他情報発信の手段	個別通知の他に、市の広報に年2回予防接種に関する記事を掲載しているのと、市公式サイトでは年間を通じて案内をしている。市の広報は、全戸配布しているもの読まない方は読まないで、周知の効果としては低いと感じている。				

2. 麻しん風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2 (1). 麻しん風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度の取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
48.あきる野市	1.個別通知の時期・回数	個別通知の回数、内容等について、検討し接種率の目標達成に向け、取り組む。		2.個別通知の内容の見直し	(計画)予防接種を標準的なスケジュールで行うことのメリット、必要性等を簡潔明瞭な内容に修正する。 また、予防接種のスケジュール管理アプリが令和6年度から変更となったため、QR等を載せるなど、周知に努める。	
48.あきる野市						
49.西東京市	1.個別通知の時期・回数	3歳頃までは予防接種に対する意識が高いのではないかと		10.接種漏れ者への接種機会の提供	未接種者を対象にした一部補助事業を引き続き実施する。	
49.西東京市	3.個別通知の手段	2歳相談会案内への同封を行ったことにより、接種漏れに気付いてもらうことができたのではないかと		6.その他情報発信の手段の見直し	2歳相談会案内への同封を行ったことにより、接種漏れに気付いてもらうことができたのではないかと	
50.瑞穂町	4.その他情報発信の時期・回数	生後2か月児に各予診票を冊子の形で個別送付しており、対象者(1歳になる前月末)に接種勧奨はがきを送付した。		8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	接種記録の確認を行う際に、未接種の場合は予診票を渡し接種勧奨している。	
50.瑞穂町				9.海外出生者の転入時の情報提供	接種記録の確認を行う際に、未接種の場合は予診票を渡し接種勧奨している。	
51.日の出町	11.その他(接種率について)	母数が少ないので転入転出の影響が顕著に現れる		11.その他(現行通り)	令和5年度と同様	
51.日の出町						
52.檜原村	11.その他(接種拒否者への対応)	母数が少なく、予防接種および接種勧奨事体を拒否する住民が一定以上いるため、接種率が低迷している。		2.個別通知の内容の見直し	例年同様の勧奨通知を送付するが、接種拒否する家庭が接種の必要性を理解できる通知内容としていく。	
52.檜原村						
53.奥多摩町	11.その他(特になし)	統計上1期は16/17人で94.1%の接種率だが年度をまたいで100%接種しているため現状維持する。		11.その他(現状維持)	接種率100%のため現状維持する	
53.奥多摩町						
54.大島町	1.個別通知の時期・回数	1歳前に2回、2歳前に1回勧奨通知を個別にしている。		6.その他情報発信の手段の見直し	アプリやSNS等で情報提供や勧奨をしていきたい。情報発信の拡大。	
54.大島町						
55.利島村	8.国内の区市町村からの転入者への取組	離島ということもあり転入者も多い。接種をおこなっていない方もいるので、初期段階での確認が必要である。		8.国内の区市町村からの転入者への情報提供	接種率は100%であるが、離島ということもあり転入者も多い。そのため、転入があることに母子手帳を確認し予防接種の漏れがないか確認している。	
55.利島村						
56.新島村	11.その他(保健師の訪問と母子健康手帳の確認)	1歳児訪問、1歳児歯科健診、1歳6か月児健診において、保健師が対象者の母子健康手帳定期予防接種の記録を確認。未接種者は再接種勧奨を実施。		11.その他(保健師の訪問と母子健康手帳の確認)	上記に加え、MRワクチンの入荷状況を見つつ、電話連絡にて個別に接種勧奨を実施。	
56.新島村						
57.神津島村	11.その他( )	ワクチン接種を希望しない方がいるため				
57.神津島村						

2. 麻疹風しん定期接種第1期および第2期接種率95%達成に向けて

2(1). 麻疹風しん定期接種第1期

区市町村名	令和5年度実績を受けての課題・要因	課題の背景、要因の分析等(自由記載) R5実績	備考	令和6年度 of 取組(予定含む)	取組の詳細、その狙い等(自由記載) R6計画・実績	備考
58.三宅村	1.個別通知の時期・回数	1歳の誕生日月に個別通知。対象者数が少ないこと、診療所での接種日が限られているため、住民も接種に対する意識が高い。		11.その他 ( )	現状で100%が維持できているため、例年通りの方法で今後も実施予定。	
58.三宅村						
59.御蔵島村	2.個別通知の内容	通知の内容が、その年度に受けるべき種類と時期が記載されており、具体的にいつ、どこで、誰が、何を接種し、どこに連絡すればよいかが一覧となっている。				
59.御蔵島村						
60.八丈町	1.個別通知の時期・回数					
60.八丈町						
61.青ヶ島村	2.個別通知の内容	保健師による全対象者へのフォロー体制が出来ている為。		11.その他 ( )	引き続き、保健師によるフォロー体制を維持する。	
61.青ヶ島村						
62.小笠原村	6.その他情報発信の手段	乳健・予防接種の台帳管理を同じ係で担当しているため、各事業で呼びかけが出来る。		6.その他情報発信の手段	令和5年度と同様の取り組みを実施予定	
62.小笠原村						